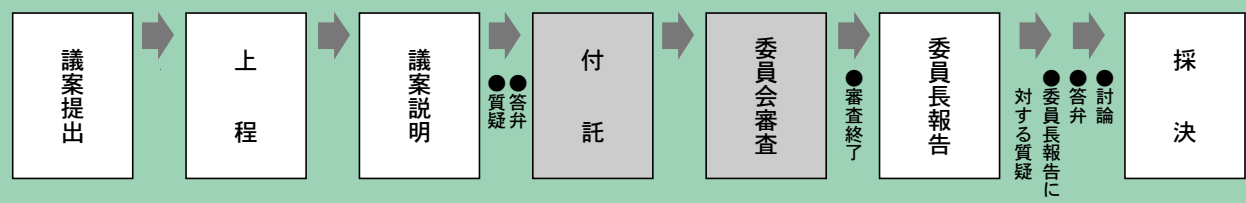


～ 委員会付託の流れ～



総務文教 常任委員会

**Q** 一般職の任期付職員採用について。

**A** 面接については、募集要項の中に、横手市の背景や、市長の思い、趣旨を詳しく載せる予定である。Aターン系を中心に積極的な情報発信をしていきたい。県の産業労働部などと情報交換し、国全体の経済発展を大きく支えた団塊の世代と前後の年齢層も有力なターゲットだと思っている。通常の新規職員採用と同様に半年間の仕事ぶりを判断して、職務に対応できないという半年間の試験任用期間の制度を活用し、見極めていきたい。今回の募集は、病院事務局長を除いてはスタッフ系の課長級で、すぐ直属の課長なり部長がサポートし、運営にあたっては、チーム力をよく

**Q** 土地売却について（雄物川町薄井）。

**A** 市の説明が遅かったことに不満はあるが、福祉施設建設には反対しないとの声が大勢だったので説明会の状況と市の方針を館合地区全戸にチラシにて配布している。今後、土地の処分など、地域に変化が生じる場合には、地域の皆さんに説明してやっていく事を肝に銘じていきたい。その指針については、3月議会までに作る方向で内部調整をしたい。

**Q** 横手市定住自立圏形成方針について。

**A** この方針は、あくまでも総論という位置付けで、具体的となる共生ビジョンは概ね5カ年間の計画である。横手市の実態にあうような事業を取り入れながら進めていきたい。



十文字学校給食センターを視察

建設 常任委員会

**Q** 災害として認められれば、財源は一般財源からどのように振り替えられるか。

**A** 工事費の3分の2が国庫補助金となる。そのほか、現年度に施工すれば残った金額の100%に起債が充当される。起債の償還は、その95%が交付税算入される。調査委託費は本工事の7%以上（500万円以上）について2分の1の国庫補助が付く。査定額が決まり該当するようであれば財源が振り替えられる。また、委員から地滑りが発生した大森町猿田の市道（出羽グリーンロード）では、避難を勧告するだけでなく2世帯8人の避難家族に対しても支援をお願いする意見があった。

**Q** 水道事業計画が予定通り進んでも、未普及地域は事業着工まで年月を要すると思

う。計画の見直しはあるか。

**A** 平成19年度に作成した水道事業計画と平成21年度変更認可の事業について年度割をして進めている。雄物川地域では、今年度末に北部地区へ中央地区の水を送る計画を進めている。配水管の敷設状況を見ながら可能であれば前倒しを検討する。また、委員から平成26年度、横手市全体の水道料金が統一されるが、少しでも早く統一した水を供給できるように整備促進を図るべきとの意見があった。

**Q** 市営住宅の管理で今後の計画と見直しは。

**A** 1,090戸の住宅を管理している。昭和40年から50年代のものが大半であり、長寿命化計画を策定中で市営住宅の配置を考えていく。



地滑りが発生した箇所を視察（大森地域）